

お忙しくても、約 2 分間で読めます

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

人物になるための一番の基本は「慎獨」 伊與田 學 (論語普及会学監)

1. 中国古典の「大学」に、次の一節があります。「所謂其の意を誠にすとは、自ら欺くなきなり」。「意」とは意識のことであり、内なる心が表に現われきたものです。そして「その意を誠にす」とは、意を正常にすること。それは「自ら欺くなきなり」、つまり、自分で自分を欺かないということです。
2. 「忠」という字は、自分で自分を欺くことなく、常に全力投球で事に当たることを意味します。本当は、自分に向けるべきものです。また「信」という字は、嘘偽りなく、自分が言ったことは必ず守ることを表す文字です。こちらは他人に対するものです。自分に対しては忠、他人に対しては信、いずれも「誠」ということです。
3. では、自分を欺くことなく、誠を貫いていける人間性を養っていくには、日頃からどのようなことを心掛ければよいのでしょうか。「大学」は次のように説いています。「君子は、必ず其の獨を慎むなり」。立派な人物というものは自分独りでいるとき、つまり他人が見ていない時でも己をしっかりと律していくという言葉です。「大学」ではこの「慎獨」を非常に重視し、人物になるための一番の基本としています。

(参考:「致知」2011年8月号)

## ワンポイント経営アドバイス

企業の経営再建の心得 (東日本大震災後)

1. 「行きすぎた効率経営を見直せ」(加護野 忠男・甲南大学特別客員教授)
  - ① 直視してこなかった問題を見据える契機に
  - ② 「選択と集中」の行きすぎを是正する
  - ③ 復興には自立を促す冷めたリーダーが適任
2. 「全員経営で創造力の再生を」(野中郁次郎・一橋大学名誉教授)
  - ① 全員が参加する「衆知経営」への回帰
  - ② 米国流経営の分析至上主義から脱却
  - ③ 企業の経営革新にミドルを生かす

(参考:「日経ビジネス」:2011年5月9日号)

## 街の活性化策

地域レベルでは集中する

1. 「市の真ん中に防災公園を整備中です。長期避難が可能な体育館を建設し救援物資も備蓄します」。こう語るのは北海道伊達市の菊谷秀吉市長。伊達市は2000年3月有珠山噴火の被害を受け、約2000人の市民が小中学校などに避難する非常事態を経験した。
2. そんな地域の特性にいち早く着目し、白羽の矢が立ったのが、市内の中央に広がる「だて歴史の杜公園」だ。敷地内に体育館を建て、災害時に長期避難滞在施設に活用することになった。菊谷市長は「国レベルでは東京一の一極集中ではなく、多極分散化すべきでしょう。しかし、地域レベルでは集中することで活力を高めるべきだ」と語る。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2011年5月14日号)

## 古典に学ぶ

心を常に楽しもう

「たとえその事業が微々たるものであろうと、自分の利益は小額であるとしても、国家必要の事業を合理的に経営すれば、心は常に楽しんで事に任じられる」

(参考: 渋澤健「渋澤栄一 100 の訓話」: 日経ビジネス人文庫)